

# Love(髄核摘出術)を受ける方へ

患者氏名： 様 (ID )

	手術前日	手術当日	1日目	2日目	3～6日目	1週間目	8日目～9日目	10日目退院
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
達成目標	手術について理解できる 末梢神経障害の症状・所見がない 静脈血栓塞栓症の症状・所見がない	ドレーンに異常がない 末梢神経障害の症状・所見がない 静脈血栓塞栓症の症状・所見がない 神経症状・所見の悪化がない 安楽な体位保持ができる	ドレーンに異常がない 坐位保持ができる	抜去部に問題がない リハビリの開始ができる 転倒予防が出来る	創部に問題がない 歩行器又は1本杖・独歩で歩行ができる	日常生活の注意点について理解できる(5,8日目) 1本杖又は独歩で歩行が出来る	→ → →	退院できる
処置 治療 薬剤	手術前日に下剤を内服します	・手術後は心電図・酸素をつけ、傷口と尿の管が入ります。 ・弾性ストッキング装着 ・間欠的空気圧迫装置使用 ・指示がある場合、朝薬を内服 ・午後からの手術の方は点滴をします	心電図、酸素を午前中にはずします 抗生剤の点滴を朝夕します(術後2日間)→ 痛み止め・胃薬(術後1週間)→	創部の消毒傷口の消毒をします		7日目に体重測定	9日目にガーゼ交換をします	退院後、外来受診時に抜糸を行います。
リハビリ	リハビリの診察 術前リハビリ評価		リハビリ実施計画書にサインをいただきます リハビリ開始・車椅子練習	リハビリテーション総合実施計画書をリハビリカンファレンスで作成し、説明しサインをいただきます 歩行器歩行の練習をします		1本杖又は独歩で歩行の練習をします	→	退院指導 (理学療法士より)
検査			血液検査		4日目に血液検査	7日目血液検査 レントゲン		
安静度・活動	自由	手術後はベッドアップ30度まで起こせます。看護師介助で横向きになることができます。 	痛みに応じて、車椅子・歩行器に乗ってみましょう  	歩行器歩行可が出来る	歩行器・1本杖又は独歩	1本杖又は独歩	→	
食事	常食または治療食( )	絶食 水分は術後おながの動きを確認してからです 	朝から食事開始 看護師介助で座って食事をしてみましょう	できるだけ自分で食べてみましょう				
清潔	入浴	夕、洗面介助	(月)(水)(金)で体を拭きます。朝夕、洗面介助	朝夕、洗面介助	防水保護後はシャワー可(月・水・金) 			
排泄	トイレ	尿の管が入り、ベッド上排泄になります	離床できれば、トイレも可能です	尿の管を抜きます トイレに行けます 				
教育・指導・説明	入院生活と手術前の説明があります (横向きの練習、良肢位についての説明等)	家族の方は手術の1時間前までに来院してください 手術室よりベッドで全介助で帰宅する。が終われば、主治医から家族の方へ手術の説明をします	看護師、理学療法士からコルセットの付け方・日常生活についての説明をします			退院指導のため15時～16時の間に( )来院をお願いします。	8日目に退院前に不安なことや日常生活についての注意点を確認します。	

姫路赤十字病院 整形外科

2013年11月 作成

2014年9月 改訂

管理コード：A0400700

注1：検査等は現時点での予定であり、今後状況に応じて変わりうるものである。

注2：入院期間については現時点で予想されるものである。